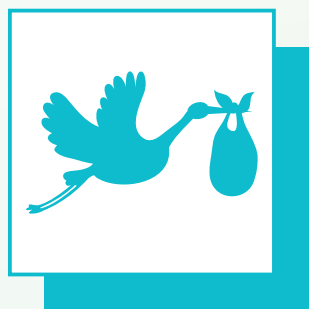




HYOGO PREFECTURAL HOSPITALS



兵庫県立病院(看護師)LINE公式アカウント

アカウント名:兵庫県立病院(看護師採用)【公式】

兵庫県立病院の合同説明会や採用試験の情報を発信中!

QRコードを読み取って
友だち登録!



05病P2-011A4

Humanistic

兵庫県立病院
看護師・助産師 募集案内
2024



「なりたい!」と「やりたい!」
が見つかる場所。

こころ豊かに自分らしく。

Humanistic

こころ豊かに自分らしく。

思いやりのある看護をする。

わたしたち看護師にとっては、当たり前のこと。

つねに相手を尊重し、そして自分も高めていく責務がある。

兵庫県立病院では、そんな当たり前を高められる環境があります。

多様性にあふれ、「なりたい!」と思える先輩たちがいる。

充実した環境で「やりたい!」を実現できる。

こころ豊かに自分らしく、人間力を磨ける兵庫県立病院で一緒に働きませんか？

思い描く理想の看護師へ。あなたの成長を支えます。

兵庫県立病院は、「より良質な医療の提供」、「安心できる県立病院の実現」、「持続可能な経営の確保」、「安定した医療提供体制の確立」を基本理念として、地域の中核病院の役割を担う総合病院と各分野に特化した専門病院の10病院からなり、県内の高度専門・特殊医療を中心とした政策医療を担い、良質な医療の提供と安心できる県立病院を目指しています。

その実現のためには、医療スタッフの育成が欠かせません。個人に応じたキャリア支援や実践研修などの教育体制を充実し、それぞれがステップアップできる職場環境づくりに努めています。

この兵庫県立病院で、あなたの活躍の場を広げてみませんか。皆さんの限りない可能性と能力に大きな期待を寄せています。



病院事業管理者
杉村 和朗

看護部長会からのメッセージ

5000人の仲間とともに！

兵庫県立病院10病院の看護部では、「私たちは、県民の生涯にわたる『こころ』と『からだ』を守るため、安全で安心な看護を提供し、地域医療に貢献します」を理念としています。

そして、この理念をもとに「系統的・継続的に生涯学習を支援し、県民に信頼される自律した看護職の育成をめざします」を教育の理念として、キャリアパスにそって“兵庫県立病院看護職キャリア開発ラダー”、“スペシャリストラダー”、“マネジメントラダー”を作成し、合同でラダー別研修会や県立病院間で長期研修を行っています。各病院での教育・研修も工夫し看護師一人ひとりの成長を支援しています。たくさんの仲間と一緒にキャリアアップをめざしましょう。



尼崎総合医療センター
三浦 智恵



西宮病院
福島 芳江



加古川医療センター
浅田 弘子



はりま姫路総合医療センター
孤野 朱美



丹波医療センター
金谷 美恵子



淡路医療センター
藤原 功己



ひょうごこころの医療センター
奥 由香



こども病院
大西 美樹



がんセンター
松本 奈美



粒子線医療センター
長澤 君子



広い知識を得る

総合病院

- 1 尼崎総合医療センター
- 2 西宮病院
- 3 加古川医療センター
- 4 はりま姫路総合医療センター
- 5 丹波医療センター
- 6 淡路医療センター

専門分野を究める

専門病院

- 7 ひょうごこころの医療センター
- 8 こども病院
- 9 がんセンター
- 10 粒子線医療センター

Contents

- 01 管理者あいさつ
看護部長会からのメッセージ
兵庫県立病院一覧
- 03 看護師キャリアパス
- 05 新卒・既卒看護師
年間スケジュール
- 09 教育担当看護師長からのメッセージ
キャリアアップ支援
スペシャリストへの道
- 11 先輩看護師たちのON&OFF
- 13 尼崎総合医療センター
- 14 西宮病院
- 15 加古川医療センター
- 16 はりま姫路総合医療センター
- 17 丹波医療センター
- 18 淡路医療センター
- 19 ひょうごこころの医療センター
- 20 こども病院
- 21 がんセンター
- 22 粒子線医療センター
- 23 待遇・福利厚生・サポート制度
- 25 Q&A・募集のご案内

看護師キャリアパス

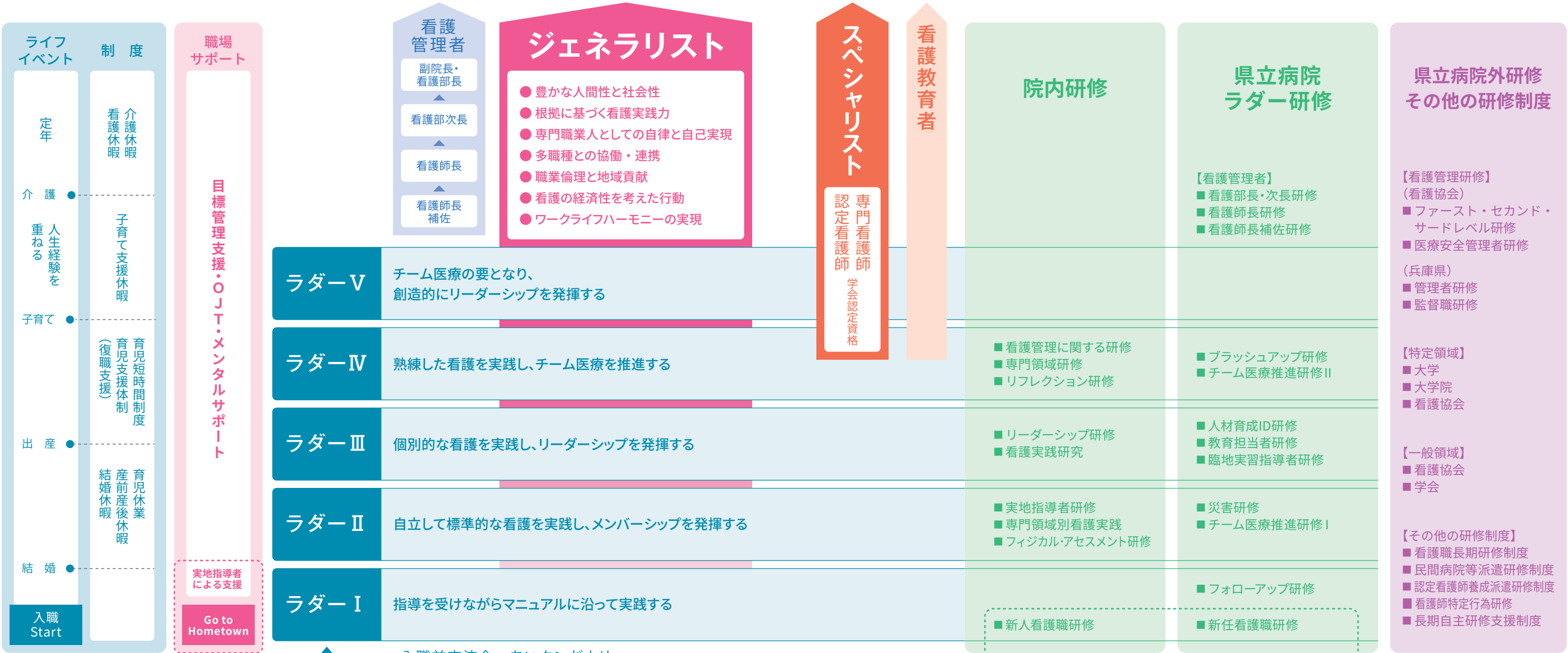
専門知識・技術を習得し科学的根拠に基づいたケアを提供できる
実践能力の高いジェネラリストの育成を目指しています。

看護部理念

私たちは、県民の生涯にわたる『こころ』と『からだ』を守るため、安全で安心な看護を提供し、地域医療に貢献します。

セカンドキャリア

社会から期待される看護師としての働き・地域への貢献・地域での看護実践



既卒看護師 年間スケジュール

経験を活かして“キャリア”を積み上げる日々

既卒看護師教育の
5つのポイント

01
実地指導者を
中心に全職員で
支援する体制

02
既卒看護師
サポートプログラム
に沿った研修

03
経験に応じた
個別支援

04
集合研修と
現場教育の
リンク

05
ワークライフ
ハーモニー
の実現



教育担当看護師長、臨床心理士、リエゾンナースが1年間サポートします!!

キャリアアップを
さまざまな角度からサポートしています

教育担当看護師長からのメッセージ

それぞれの新人が目指す理想の看護師像に近づけるよう丁寧にサポート。

兵庫県立病院では、各病院共通のサポートプログラムに沿って新人看護職員の成長を積極的に支援しています。教育担当者と新人が所属する部署のスタッフたちが情報を共有し、集合教育と現場教育を繋ぎながら、段階的に成長できるよう調整。患者さんとの関わりを大切にしつつ主体的に経験を積むことで、それぞれが目指す看護師に近づけるようサポートを行います。常に新人とともに考えながら、その成長を応援しています。



丹波医療センター 婦木 まゆみ

improve
my career

キャリアアップ支援

県立病院長期研修

看護実践能力の向上を図る観点から、看護職のキャリア開発の一手法として、5年以上の勤務者等を対象にした研修です。在籍する病院以外の県立病院の看護を学び、更に視野を広げ能力を高められます。研修終了後には、在籍する病院にもどって活躍することにより、キャリア開発の支援を図っています。



小児がん患者と関わる中で、骨髄移植前の子どもやご家族の不安に寄り添う看護の難しさに直面し、そこで骨髄移植を多数実施していることも病院への研修を希望しました。研修中は骨髄移植前後の子どもやご家族と関わる機会をいただき、それぞれに寄り添うための看護を体験しました。この学びを病棟スタッフと共有し、今後移植に挑む子どもやご家族の不安の軽減に取り組みたいと思います。

尼崎総合医療センター 芦田 沙也佳

進学支援

大学院等への進学のための休職制度があります。県立大学(MBA)・診療情報管理士の修学費用は県が支援します。

Specialist スペシャリストへの道

所属病院での高い専門性を活かした実践、さらには所属病院を越え、病院を横断した活動を行い、県立病院の医療・看護の質向上に貢献する専門看護師・認定看護師の育成を行っています。

専門看護師の育成

長期自主研修支援制度を利用し、公務員の身分を保持したまま大学院に進学することができます。

認定看護師の育成

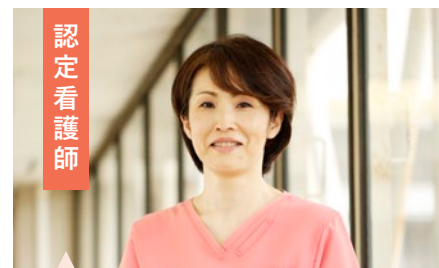
概ね3年以上の勤務者(ラターⅢ以上で認定看護師課程の受験要件を満たしている者)を対象に、毎年15名程度、県立病院認定看護師養成派遣研修制度の研修生を募集しています。日本看護協会認定課程と日本精神科看護協会認定課程を受けることができます。

経費は県が負担

概ね6ヶ月程度(各課程によって異なる)、研修派遣に係る下記の経費は県が負担します。

- ①入学検定料 ②入学金 ③授業料
④認定資格審査料・認定資格登録料(初回のみ)

多くの専門看護師・認定看護師が活躍しています！



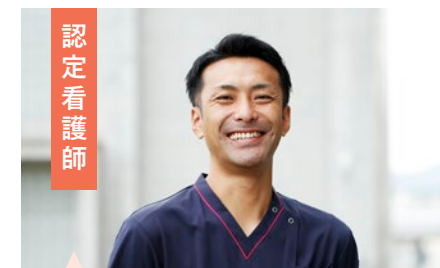
兵庫県立西宮病院
渋谷 はるみ (がん化学療法看護認定看護師 2011年取得)

がん薬物療法中の患者さんの副作用をマネジメントしてより良い社会生活が送れるようサポートしたいと考え、資格を取得。患者さんが治療を継続できるよう副作用を最小限にしながら、その人らしく生活が送れるよう支援しています。患者さんと喜びを共にするのがやりがいです。



兵庫県立淡路医療センター
中原 絵美子（急性・重症患者看護専門看護師 2014年取得）

緊急度や重症度の高い患者さんに対して集中的な看護を提供しています。医療スタッフ間の調整を行いながらクリティカルな状態を安全に乗り越え、回復促進のための支援を患者さんとそのご家族に提供。患者さんが力を最大限発揮できるよう、支援することを心がけています。



兵庫県立こども病院
藤原 健太 (小児救急看護認定看護師 2013年取得)

看護師長兼認定看護師として包括的に業務を把握し、スタッフへの指導や相談などの病棟運営を行っています。認定看護師の役割があることで、より実践的な指導や育成が出来ます。これからも患者さんはもちろん、スタッフ自身も楽しくいきいきできる環境を創りたいと思います。

専門看護師・認定看護師の養成状況

専門看護師33名、認定看護師141名(2023年10月現在)

認定機関	日本看護協会																											日本精神科看護協会				
看護分野	専門看護師(33名)								認定看護師(135名)																			精神科認定看護師(6名)				
	がん看護	精神看護	老人看護	小児看護	母性看護	慢性疾患看護	家族支援	急性・重症患者看護	救急看護	ケア・クリティカル	皮膚・排泄ケア	集中ケア	緩和ケア	療育看護	がん化学療法看護	がん薬物療法看護	疼痛看護	感染管理	糖尿病看護	新生児・集中ケア	手術看護	乳がん看護	障害看護	摂食・嚥下障害看護	小児救急看護	認知症看護	がん放射線看護		慢性心不全看護	脳卒中リハビリテーション看護	透析看護	訪問看護
尼崎総合医療センター	●	●		●			●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●		●	●	●	●	●	●		●		●	●	
西宮病院	●	●			●				●		●		●	●	●	●		●				●	●			●	●					
加古川医療センター	●					●			●			●	●	●	●			●				●		●		●	●					
はりま姫路総合医療センター	●	●	●		●			●	●		●	●	●	●	●			●	●			●		●			●	●	●			
丹波医療センター											●		●	●	●		●					●		●		●						
淡路医療センター		●		●				●	●		●		●	●	●	●		●	●			●		●								
ひょうごこころの医療センター		●																●								●						●
こども病院				●			●			●	●	●	●	●	●				●	●	●	●		●	●		●			●		
がんセンター	●										●	●	●	●			●	●				●	●					●				
粒子線医療センター (神戸陽子線センター含む)	●												●				●										●					



がんセンター
西谷 ころろさん

高校卒業すぐ免許を取り、運転にはまりました。まだマイカーはありませんが、友人の大型SUVを運転させてもらって腕を鍛えています。運転は気分転換に最適。リフレッシュできます！



こども病院
宮田 晴加さん

高校時代はゴールキーパー。大学時代は部活のマネージャーを経て審判に挑戦。現在はA級審判に合格し、様々な試合に出かけています。趣味も仕事も、学んで成長するのが楽しいです。



先輩看護師たちの
Pick up

ON & OFF

兵庫県立病院で活躍する先輩看護師にも日頃のリフレッシュは大切。それぞれの地域でのOFFの過ごし方を取材しました！



西宮病院
大森 葵さん

高校から「SUPER BEAVER」の大ファン。コロナ禍ではライブがなく寂しかったですが、今は積極的にライブに出かけています。彼らの真っ直ぐな歌詞やMCから、仕事への勇気をもらいます！



丹波医療センター
足立 安海さん

働き始めてから様々なキャンプ用品を買いそろえてきました。友達や家族と県内外のキャンプ場に出かけています。次の休みはどこに出かけようか？…と計画するのが日々の楽しみです。



加古川医療センター
吉田 虹架さん

母がバスケのコーチで、小中高と部活で奮闘。現在は社会人チームに所属し、毎週日曜日に練習しています。常に上を目指す姿勢はバスケで身につけたもの。市内ベストを目指します！



ころの医療センター
三谷 結衣さん

小5で藤ヶ谷くんに一目惚れしてからKis-My-Ft2の大ファン。ライブがあれば近畿圏はもちろん福岡まで遠征します！入院中の子どもたちともアイドルの話で盛り上がっています！



はりま姫路総合医療センター
浅谷 佳純さん

幼稚園から大学までバレー一筋。いまは地元の社会人チームと県職員チームに掛け持ちで所属。仕事の後に練習していますが、日常にバレーの時間がある生活リズムが私には最適です。



尼崎総合医療センター
三星 涼太郎さん

小学校1年生から大学卒業まで、柔道に打ち込みました。今は趣味で道場に通い、子どもたちにも教えています。武道で培った体力と精神力は、そのまま仕事に活かれます！得意技は内股！



淡路医療センター
松井 愛里さん

小学校から打ち込んできたバレー。コロナ禍の中断を経て復帰しました。いまは看護組合のチームでアタッカーを務めています。他部署の方とスポーツを通じて交流できるのも楽しいです！



尼崎総合医療センター

高度急性期医療のフィールドで自分を磨き、 チーム医療を牽引する看護師を目指す。

高度急性期医療を学びたいと思い入職しました。当院は研修制度が整っており、PNSで疑問はすぐに先輩に質問・相談できます。また、他部署の同期と情報共有ができることも魅力です。目指すのは、医療チームを引っ張っていくような、実力ある看護師です。患者さんの個別性を考えながら、看護を提供しています。

水谷 真梨子

尼崎総合医療センター 4つの特徴

01 24時間365日断らない
大規模「ER型救命救急センター」

02 救命救急医療と重症専門医療に対応する
小児集中治療室(PICU)設置

03 妊婦および新生児に対する
「総合周産期母子医療センター」

04 48診療科による総合診療体制と
高度専門医療

看護部から

当院は急性期医療の拠点病院として、新生児から成人・老年期の患者さんに高度医療を提供しています。仲間とともに学び続け、エビデンスに基づいた的確な臨床判断とところを込めた「One More(ワン・モア)」の看護の提供を目指しています。看護の力で「患者さんが笑顔になる」「患者さんがhappyになる」…そのひとときに私たちは感動し、その感動が私たちの活力になっています。

診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、心療内科、緩和ケア内科、感染症内科、漢方内科、精神科、リウマチ科、アレルギー科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、消化器外科、心血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション外科、形成外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、眼科、麻酔科、歯科口腔外科、小児科、小児循環器内科、小児外科、小児アレルギー科、救急科、小児救急科、小児神経内科、小児血液・腫瘍内科、新生児内科、小児脳神経外科、小児感染症内科、小児形成外科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科



●手術室で滅菌された物品を準備中。



●患者さんをストレッチャーで移送中。

診療科48科

病床数730床
※感染病床8床含む



〒660-8550 尼崎市東難波町2丁目17-77

TEL. 06-6480-7000

<http://agmc.hyogo.jp>

看護部ホームページはこちら⇒



西宮病院

患者さんに真摯に向き合いながら、 多様な知識と看護観を学べる環境。

西宮病院の魅力は急性期医療を提供するなかで、患者さんとそのご家族個々に対し丁寧に向き合っていることです。また、他の診療科を経験された先輩看護師の皆さんから、多様な知識と様々な看護観を学ぶことができます。当院は2026年に西宮市立中央病院と統合・再編されるため、新病院で働くことを今から楽しみにしています。

座安 りあ

西宮病院 3つの特徴

01 ラピッドレスポンスカー・
DMATカー配備による救命救急医療

02 豊富な経験と実績のある腎臓移植医療

03 地域と連携した周産期医療の提供

看護部から

「しなやかに看護を創造する」という理念のもと、患者さんのニーズに沿った安心で専門性の高い看護の提供を目指しています。個々のキャリアを支援する教育体制を整え、思いやりのある自律した看護師の育成に取り組みながら、新病院に向かって準備を進めています。



●先輩と二人で注射液を入念に確認中。

診療科目

内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、腫瘍内科、リウマチ科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科

診療科25科

病床数400床



〒662-0918 西宮市六湛寺町13-9

TEL. 0798-34-5151

<http://www.nishihosp.nishinomiya.hyogo.jp>

看護部ホームページはこちら⇒



2026年 新病院オープン予定!

良質かつ優しい医療で地域に貢献する

スマート・ホスピタル 西宮総合医療センター(仮称)

デジタル技術を駆使した高度専門医療・救急災害医療を提供します。

西宮病院は西宮市立中央病院と統合し、

西宮総合医療センター(仮称)に生まれ変わります。



診療科35科

病床数552床
一般病床544床
精神病床8床



総合



専門



看護師



助産師



院内保育所完備

加古川医療センター

アットホームな雰囲気の中、 地域の急性期医療を実践的に学べる。

アットホームな雰囲気に惹かれて入職。院内でリハビリ中の患者さんから、「こんなことも出来るようになったよ」と報告いただいたときは嬉しく思いました。月に一回、認定・専門看護師さんから指導を受ける機会もあります。当院はドクターヘリを持つ地域病院なので、急性期看護について今後も実践的に学びたいと思います。

本岡 菜

加古川医療センター 4つの特徴

01 ドクターヘリ・ドクターカー配備による
病院前救護・広域救急医療

03 全県の拠点的な役割を担う
生活習慣病医療の提供

02 神経難病医療ネットワークの
専門協力病院として神経難病医療を提供

04 専用の病棟を完備した緩和ケア医療

看護部から

東・北播磨圏域の3次救急医療から、生活習慣病医療・緩和ケア医療まで幅広い医療の提供を行う地域の中核病院です。私たちはその中でチーム医療を推進し、看護の専門性を発揮しながら確実な実践に努めています。

『やさしさとぬくもりのある質の高い医療の実践』という理念の実現に向け、一人ひとりが『おもいやりの心』を大切に、心豊かに患者さん主体の看護が提供できるよう取り組んでいます。

診療科目

総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、感染症内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科・IVR科、麻酔科、病理診断科、救急科

診療科27科

病床数353床
※感染症病棟8床含む



●ICUで同僚とダブルチェック。



●理学療法士とのカンファレンス。



〒675-8555 加古川市神野町神野203

TEL. 079-497-7000

<http://www.kenkako.jp>

看護部ホームページはこちら⇒



総合



専門



看護師



助産師



院内保育所完備

はりま姫路総合医療センター

温かく、安心して働ける環境で、 理想の看護師を目指して一歩ずつ成長。

学生時代に当院で実習を経験。温かく丁寧に指導していただいたことから、入職を決めました。先輩方やキャリア支援室の方々が支えてくださるので、不安が多い1年目でも安心して働いています。目標は患者さんの生活背景や退院後の生活を見据えた看護を行える看護師。そのために今後も自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

坂本 百花

はりま姫路総合医療センター 4つの特徴

01 高度専門・急性期医療の地域拠点

03 ドクターヘリでは、フライトナースも活躍

02 最先端の医療技術を展開

04 大学・研究機関との共同研究を推進

看護部から

2022年に開院した「はりま姫路総合医療センター」愛称『はり姫』には、高度専門医療、救命救急医療、医療人材育成、臨床研究の推進と、大きく4つの役割があります。「良質な医療を良質なチームで」をスローガンに、私達看護師は、専門性の高い医療を提供するためにチームの中心となり、多職種と協働しながら患者さんを支援しています。また看護部では、“しなやかに進化する”ため「対話」を教育の根幹におき、先輩・後輩が共に日々成長できるよう教育に取り組んでいます。



●カンファレンスで各スタッフが意見交換。

診療科目

総合内科(内科)、循環器内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腎臓内科、呼吸器内科、腫瘍内科、血液内科、感染症内科、緩和ケア内科、外科、心臓血管外科、脳神経外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線診断科、放射線治療科、膠原病(リウマチ)科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、精神科、麻酔科、産婦人科、小児科、小児外科

診療科35科

病床数736床



●リハビリに取り組む患者さんにエールを。



〒670-8560 姫路市神屋町3丁目264番地

TEL. 079-289-5080

<https://hgmc.hyogo.jp/recruit/index.html> (総合採用サイト)

看護部ホームページはこちら⇒





総合



専門



看護師



助産師



院内保育所完備

丹波医療センター

中核病院として地域に医療を提供。
HCU看護師として確かな技術と知識を。

丹波医療センターは丹波医療圏のハイブリッド施設の役割を担っており、人生の各期における医療に関わることに魅力を感じました。現在はHCUに勤務。緊張感が高い職場ですが、実地指導者や幅広い年代の先輩方に指導いただいています。今後も確かな知識と技術を身につけて、急変時に迅速に動けるよう成長したいと思います。

中谷 水優



丹波医療センター 4つの特徴

01 急性期から回復期、
終末期までの幅広い医療の提供

03 地域医療を担う人材の育成

02 救急医療提供体制の充実

04 地域における周産期医療の提供

看護部から

丹波圏域の中核病院として急性期から在宅医療まで幅広い医療を提供しています。地域の方々の「いのち」と「健康」と「くらし」を守るという使命を持ち、患者さんの「こころ」と「生活」を大切にした看護を行っています。院内のみならず、隣接する丹波市健康センターや地域の支援者と強い連携を持ち、患者さんを中心としたチーム医療を行っていることが強みです。生命の誕生から、予防医療、ターミナル期に至るまで、人のあらゆる発達段階・健康段階に丁寧に関わり、人々のこころに響く看護を提供しています。



●HCUで同僚とともに機器をダブルチェック。



●カウンターで患者さんたちの情報共有を。

診療科27科

病床数320床

診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、緩和ケア内科、小児科、放射線科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科



〒669-3395 丹波市氷上町石生2002-7

TEL. 0795-88-5200

<http://tmc.hyogo.jp>

看護部ホームページはこちら⇒



日本医療機能評価機構
一般病院 認定



総合



専門



看護師



助産師



院内保育所完備

淡路医療センター

自然豊かで温かいこの島のために。
看護師としてこれからも技術を磨く。

海に囲まれ自然豊かな淡路島で生まれ育ったため、島民を支える存在になりたくて入職しました。当院は淡路島唯一の公立病院。急性期医療と地域医療の両方を手掛け、チームで人間味あふれる看護を提供しています。今後もどんどん技術を習得し、患者さんだけでなく同僚たちからも深く信頼される看護師になりたいと思います。

長岡 瑞季



淡路医療センター 4つの特徴

01 淡路全域をサポートする高度専門医療

03 地域がん診療連携拠点病院としての
専門的な医療

02 救急・災害・周産期・小児・へき地の
5事業が重点領域

04 地域住民を支える医療

看護部から

『淡路圏域の中核病院として医療・介護連携を推進し、救急医療を含む高度専門医療を提供する地域に根ざした病院です。高度化、多様化する医療ニーズに対応できるように、「自律」「心」「つながる」看護師を目指しています。



「ぼんたまん」
AMCマスコットキャラクター

A (autonomy) 自律: 病院、看護部理念・目標にむかって考えて行動できる

M (mind) 心: 県立病院の職員、専門職業人としての自覚、思いやり・倫理観を持つ

C (connect) つながる: 部署内・部署間・職種間・地域とつながることができる



●リハビリで出来たことを一緒に喜ぶ。

診療科目

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、血液内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科、歯科口腔外科

診療科28科

病床数441床

※精神45床 結核15床
感染4床含む



●患者さんと外の風を感じる。



〒656-0021 洲本市塩屋1丁目1-137

TEL. 0799-22-1200

<http://www.awajimc.jp/>

看護部ホームページはこちら⇒



ひょうごこころの医療センター

思春期の精神看護に興味を抱き入職。 患者さんの変化を見逃さない看護師に。

発達障害や思春期の精神分野に興味があり、精神科単科病院で児童思春期病棟を有する当院に入職しました。先輩たちは仕事の指導だけでなく、メンタル面も気にかけてくださるので安心して働いています。精神科では症状をうまく言葉でできない患者さんが多いため、些細な変化に気づき、適切な治療に繋がられる看護師を目指しています。

足立 なずな



ひょうごこころの医療センター 4つの特徴

01 兵庫県下唯一の公立精神科単科病院

02 兵庫県精神科救急医療システムの基幹病院として精神科救急患者の24時間受け入れ

03 精神科救急医療、児童・思春期精神科医療、アルコール依存症治療、認知症疾患医療などの中核的役割を果たす基幹病院

04 訪問看護、デイケアサービスなどの多職種継続ケアチームによる地域移行支援と地域定着

看護部から

高齢化や精神疾患の多様化、在宅医療への移行など精神科医療が進化する中、患者さんの「こころ」「からだ」「くらし」を理解し、個別性・専門性の高いヘルスケアサービスを展開しています。また、患者さんの強みや健康的な側面に着目し、地域移行を目指した看護を実践しています。知識と経験を統合させた専門性の高い看護実践力を修得するために、精神科特有の教育プログラムも導入し、充実した院内教育研修を行っています。



「しずくちゃん」
ひょうごこころの
医療センター
マスコットキャラクター



●ナースステーションでミーティング風景。



●患者さんとの作業療法。笑顔を忘れずに。

診療科6科

病床数254床



〒651-1242 神戸市北区山田町上谷上字登り尾3

TEL. 078-581-1013

<http://hmhc.jp/>

看護部ホームページはこちら⇒



こども病院

言葉ではなく表情や反応を見ながら、 こどもの笑顔を引き出せたときのやりがい。

「こどもの笑顔と頑張る力を引き出す看護」に携わりたいと思い、当院を選びました。現在はNICUに所属。言葉を話せない赤ちゃんの反応を観察しながら処置・対応した結果、その子が気持ちの良い表情を見せてくれると、とてもやりがいを感じます。小児看護専門看護師に興味があるため、今後も多くの経験を積み看護力を高めていきます。

村田 晴香



こども病院 5つの特徴

01 小児の
先進高度専門医療

02 総合周産期
母子医療センター

03 小児救命救急センター

04 小児がん拠点病院

05 在宅医療の推進

看護部から

母と子を守る“最後の砦”という使命を担い、周産期・小児医療の高度専門医療を提供しています。看護部では、「看る・護る・伝える・繋ぐ」をスローガンに、こどもと家族の輝く笑顔を引きだそう!と看護を提供しています。目と心でこどもを「看る」、こどもの安全と安心を「護る」、親の思いをこどもに伝え、こどもの頑張りと心を親に「伝える」、親と離れていた時間を繋ぐ・こどもを地域へ「繋ぐ」看護を丸となって紡いでまいります。そして、歴史ある小児専門病院として伝承された専門的看護技術と新たな知を融合させ、それぞれの「いのち」の可能性を発揮できるように、こどもの“笑顔”と“頑張る力”をひきだす『笑児（しょうに）看護』を目指します。



「おうちにかえるくん」
こども病院の
マスコットキャラクター
こどもたちがお家に帰ることを
願って命名しました



●子どもたちの笑顔で、看護師も笑顔に。

診療科目

小児科、精神科、泌尿器科、循環器内科、小児外科、小児歯科、腎臓内科、心臓血管外科、放射線科、血液・腫瘍内科、脳神経外科、麻酔科、脳神経内科、整形外科、リウマチ科、形成外科、アレルギー科、耳鼻咽喉科、代謝・内分泌内科、眼科、新生児内科、周産期内科、産科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科

診療科26科

病床数290床



〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目6-7

TEL. 078-945-7300

<http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>

看護部ホームページはこちら⇒



●PICUで聴診。子どもの不安を少しでも軽く。

がんセンター

がんに立ち向かう患者さんの勇気、 希望を支えられる看護師を目指して。

専門的ながん治療を学びながら、がん患者さんやそのご家族の不安に寄り添うことに魅力を感じて入職しました。集中治療室勤務のため患者さんに関わる時間は少ないですが、病棟で回復し元気になられた姿を見かけると、心から喜びを感じます。治療へ前向きに立ち向かう患者さんの勇気・希望を支えられる看護師を目指します。

日野 菜那



がんセンター 4つの特徴

01 科学と信頼に基づいた
最良のがん医療の提供

02 地域包括ケアを推進し、
がんサバイバーを支援

03 専門看護師・認定看護師等の豊富な人材

04 がんゲノム医療拠点病院として
先進医療の提供

看護部から

「がんと共に生きる人を支える最良のがん看護の提供と発展に努めること」を理念に、「患者のところに寄り添う看護」をめざします。急性期から終末期の全ステージに関わるがん看護は、ジェネラリスト看護師が力を発揮し、専門看護師・認定看護師らのスペシャリスト看護師とともに「気づく」「感じる」「考える」「行動する」力を育み向上できる場所です。がんゲノム医療拠点病院として先進医療の提供とチーム作りにも取り組んでいます。



「ともたん」
がんセンター
マスコットキャラクター



●入念にチェックを重ねながら点滴の準備。



●病棟ラウンド中。電子カルテに情報を入力。

診療科26科

病床数360床

診療科目

消化器内科、呼吸器内科、腫瘍循環器科、血液内科、腫瘍内科、消化器外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、乳癌外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、頭頸部外科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、糖尿病・内分泌内科、眼科、緩和ケア内科、遺伝診療科、病理診断科、リハビリテーション科、精神腫瘍科



〒673-8558 明石市北王子町13-70

TEL. 078-929-1151

<http://www.hyogo-cc.jp/index.php>

看護部ホームページはこちら⇒



粒子線医療センター

最新がん治療への興味から入職。 患者さんを支え、その回復を見届ける。

当院は病床数50床という小さな病院ですが、粒子線・化学療法の併用療法や、難治がん治療を積極的に実施しています。2022年4月から、公的医療保険適用が拡大となり、より多くの症例を学ぶことができるようになりました。患者さんのつらさやうれしさを日々、一緒に共有しながら、看護ケアを行うことにやりがいを感じています。

野口 千代子



粒子線医療センター 4つの特徴

01 陽子線・重粒子線によるがん治療

02 粒子線・化学療法など併用療法

03 治療後の相談機能（電話）による
経過観察システム

04 難治がんに対する積極的な医療の提供

看護部から

「陽子線」・「重粒子線」2つの線種で放射線治療を行っているがん治療専門病院です。私たちは常にごがん患者さんに真摯に向き合い、患者さんの意思を尊重し、希望する医療が受けられるよう支援しています。そして、最善の粒子線治療ができるようコミュニケーションを大切に、多職種と協働してチーム医療を推進します。

附属神戸陽子線センター

小児がんに重点を置いた附属神戸陽子線センターでは、隣接する県立こども病院と連携しながら全国の小児がん患者に対して、専門性の高い治療と看護を提供しています。



「プロトンちゃん」
マスコットキャラクター



「カーボンくん」
マスコットキャラクター

診療科目
放射線科

診療科1科

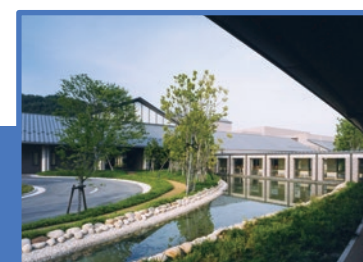
病床数50床



●実践した看護を電子カルテに入力。



●治療移送時にも患者さんと笑顔で会話。



〒679-5165 たつの市新宮町光都1-2-1

TEL. 0791-58-0100

<http://www.hibmc.shingu.hyogo.jp>

看護部ホームページはこちら⇒



待遇・福利厚生

福利厚生が充実しているのも「兵庫県立病院」の魅力のひとつ。親元を離れての一人暮らしでも、パパ・ママになっても、安心して長く働き続けられるよう、職場環境の整備にも力を注いでいます。

給与

▶ 新卒者

	基本給	諸手当	合 計
大学 4 年卒	237,616 円	96,503 円	334,119 円
短大 3 年卒	231,052 円	95,683 円	326,735 円
短大 2 年卒	221,863 円	94,566 円	316,429 円

※2023年4月時点
※短大3年卒は、看護専門学校(3年)卒も含む

▶ 既卒者 (例:3年制看護学校卒業)

	基本給	諸手当	合 計
経験年数 5 年	263,763 円	99,714 円	363,477 円
経験年数 10 年	285,424 円	102,378 円	387,802 円
経験年数 15 年	315,619 円	106,110 円	421,729 円

※上記は2023年4月時点において神戸・阪神・明石地区の病院で勤務した場合
※地域手当、深夜・準夜勤の諸手当(各4回分)、住宅手当(上限28,000円)、超過勤務手当10時間分を含む

▶ 諸手当

通勤手当、特殊勤務手当、住宅手当、扶養手当、超過勤務手当 など

▶ 賞与 (ボーナス) 年2回(6月/12月)

	支給額 (年間)		支給額 (年間)
大学 4 年卒	1,140,556 円	経験年数 5 年	1,266,060 円
短大 3 年卒	1,109,048 円	経験年数 10 年	1,370,032 円
短大 2 年卒	1,064,940 円	経験年数 15 年	1,514,968 円

※上記は通年で勤務をした場合での支給額です

▶ 昇給

年 1 回

勤務時間・休憩

勤務時間 週 38 時間 45 分 (3 交替制・2 交替制※病棟により異なります)

休 憩

1. 年次有給休暇：20 日 (初年度は 15 日)
2. 夏季休暇：5 日
3. 特別休暇 (結婚、忌引、子育て支援、ボランティア)
4. その他、介護休暇等あり



気になる
待遇・
福利厚生

充実したサポート制度

子育て支援をはじめ、看護職員用宿舎など、様々な面で生活を支えます。

看護師宿舎 看護職員用の宿舎を各病院に設けています



看護師宿舎(ワンルームタイプ)は、希望により入ることができます。利点として、家賃負担が少ないこと(概ね10,000円※病院によって異なります)、遠方から来られる人にとって、ご家族の不安解消になること、また、他部署の同期や先輩とも仲良くなれ、いろいろな悩みも相談できます。なお、看護師宿舎に入らず賃貸住宅に入居する場合は、家賃に応じて最大28,000円までの住居手当が支給されます。

子育て支援 育児休業・院内保育所などの支援



県立病院では「職員一人ひとりが働きやすく、安心して子育てができる『元氣』あふれる職場づくりの実現」を目指し、子育て支援制度の充実を図っています。また、制度を利用しやすい職場の雰囲気があり、2023年12月現在、約600名の看護師が育児に関する制度を利用しています。また、院内保育所を9病院に設置し、家庭保育が困難な0歳～5歳までの乳幼児を預けることができます。

▶ 院内保育所 設置病院

尼崎総合医療センター、西宮病院、加古川医療センター、はりま姫路総合医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター、ひょうごこころの医療センター、こども病院、がんセンター

▶ 支援制度 (一例)

名 称	取得可能時期
育児休業	子どもが 3 歳になるまで
育児短時間勤務制度	子どもが小学校に就学するまで
子育て支援休暇	子どもが中学校を卒業するまでで、その子の看護や入学式への出席等、勤務しないことが相当であると認められるとき

※下記のほか、妊娠中の職員の通勤緩和や就業制限等の制度があります。



子育てナースからのメッセージ

兵庫県立西宮病院
土井 智博

共働きのため、夫婦で協力して子育てをしています。日々、ノー残業を心掛けて子どもと過ごす時間を確保。職場には子育て世代の先輩看護師がたくさん働いているため、悩んだときはいつでも相談できてアドバイスが貰えるのがとても心強いです。



兵庫県立病院
Q&A

兵庫県立病院について お答えします!

▶ 病院での勤務体制編

Q 勤務体制

A 3交替制と2交替制があります。勤務体制は希望制ですが、病棟により対応状況が異なります。県立病院における標準的な勤務時間は概ね次のとおりです。

3交替制：8時30分～17時15分、
16時～0時45分、
0時15分～9時
2交替制：8時30分～17時15分、
16時～9時30分(仮眠有)

Q 夜勤の回数と人数

A 夜勤の回数は、3交替で月8回、2交替で月4回を基本としています。夜勤の人数は、一般病棟では3名を基本として勤務しています。なお、重症患者の病棟では3名以上で勤務しています。



気になる
質問を
集めました!

▶ 病院配属編

Q 希望病院への配属

A 本人の希望を尊重して配属病院を決定しますが、各病院の欠員等の状況によっては、第1希望の病院以外に配属されることがあります。2022年度は、第1回、2回の採用試験に合格した新卒者については、第1希望病院へ配属しています。なお、毎年10月に看護師全員を対象に勤務地や勤務内容に関する希望を申告する制度があります。

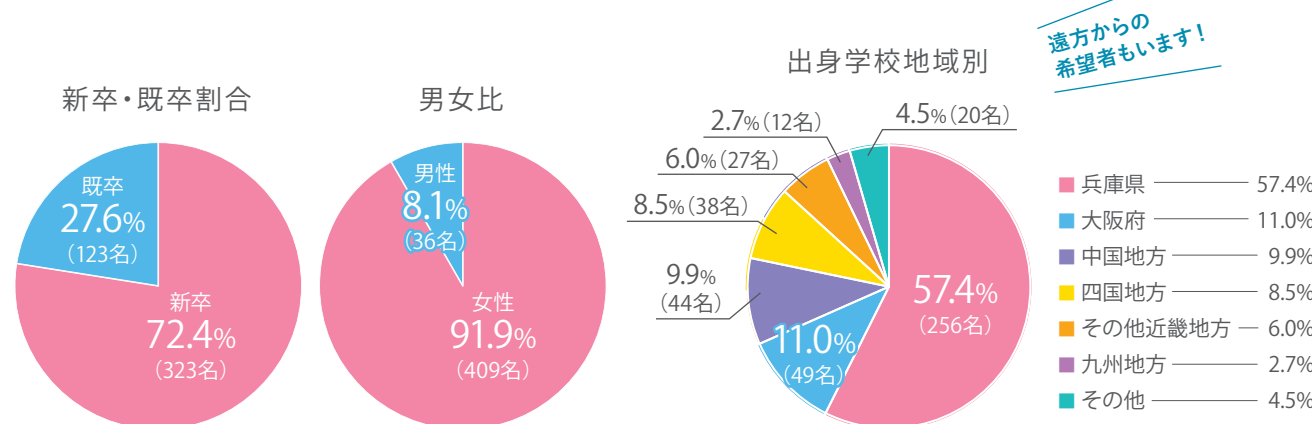
Q 助産師免許保持者の配属病院

A 助産師は産科病棟のある病院で募集しています。(対象病院：尼崎総合医療センター、西宮病院、はりま姫路総合医療センター、丹波医療センター、淡路医療センター、こども病院)

Q 採用後の配属部署

A 採用後の病院内での配属部署については、新人看護師としての学習環境などを考慮して、配属部署を決めていくことになります。できる限り本人の希望を尊重しますが、1つの部署に多数の希望があった場合には、第2希望や第3希望の部署になることがあります。助産師免許保持者においても、必ずしも配属が産科病棟になるとは限りません。

▶ 2023年度 採用者属性紹介



Recruitment 募集のご案内

2024年度 採用試験 日程	第1回 2024	第2回 2024	第3回 2024	第4回 2025
	5/18 ^土 5/19 ^日	7/6 ^土	10/12 ^土	1/11 ^土
	募集期間 2024年4月5日(金)～2024年4月19日(金)	募集期間 2024年6月5日(水)～ 2024年6月19日(水)	募集期間 2024年9月3日(月)～ 2024年9月17日(月)	募集期間 2024年12月3日(月)～ 2024年12月17日(月)
	合格発表 2024年6月4日(火)※予定	合格発表 2024年7月18日(木)※予定	合格発表 2024年10月24日(木)※予定	合格発表 2025年1月23日(木)※予定

- ▶ 応募資格 看護師または助産師免許を有する者または取得見込みの者で
1965年4月2日以降に生まれた者(2025年4月1日現在における年齢が60歳未満の者)
- ▶ 選考方法 論文試験・面接試験
- ▶ 試験会場 【第1回】神戸、姫路、岡山、徳島、福岡(予定) 【第2・3回】神戸、姫路(予定) 【第4回】神戸(予定)
- ▶ 応募書類 募集要項は各試験日の概ね1ヶ月前に兵庫県病院局管理課のホームページに掲載すると共に、各県立病院に設置します。募集要項の郵送をご希望の場合は、封筒の表に「看護師募集要項請求」と朱書きし、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角形2号封筒)を同封の上、病院局管理課職員班宛に請求してください。

応募方法 インターネットによる申込が便利です!

インターネットによる受験申込が可能です。簡単、便利なインターネット申込を推奨していますのでぜひご活用下さい。(申込み方法の詳細については、募集要項及び県ホームページに掲載します)

問い合わせ先

兵庫県病院局管理課職員班

〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1

078-362-3224

9:00～17:30
(月曜～金曜、祝日を除く)

ホームページはこちら⇒



[URL] https://web.pref.hyogo.lg.jp/bk02/kango_boshu.html

[MAIL] kango@pref.hyogo.lg.jp

施設見学・インターンシップ

詳細については希望する病院のホームページまたは以下の連絡先にご確認ください。

県立 尼崎総合医療センター 06-6480-7000

県立 西宮病院 0798-34-5151

県立 加古川医療センター 079-497-7000

県立 はりま姫路
総合医療センター 079-289-5080

県立 丹波医療センター 0795-88-5200

県立 淡路
医療センター 0799-22-1200

県立 ひょうご
こころの医療センター 078-581-1013

県立 こども病院 078-945-7300

県立 がんセンター 078-929-1151

県立 粒子線
医療センター 0791-58-0100